



すまいる

あすわ

「生きる力」を身に付け、たくましく未来を拓く子

学校だより9号

令和8年8月27日(木)

TEL (0776) 35-3804

FAX (0776) 35-0654

<http://www.fukui-city.ed.jp/asuwa-e/>

40日間にわたる長い夏休みが終わりました。夏休み期間中は、親子でふれ合ったり、話をしたりするなどして、楽しい時間を過ごしたのではないかと思います。子どもたちはたくさんの楽しい思い出を胸に、うれしそうな顔で登校してきました。

いよいよ授業再開ですが、まだしばらくは残暑厳しい日が続きますので、子どもたちの体調に十分気をつけたいと思います。また、長い休み明けですので、子どもたちの様子をしっかり見ながら、教育活動を進めていきたいと思います。



全校朝礼での話

夏休み明けの授業が再開しました。全校朝礼では、夏休み明けも充実した学校生活を送ることができるよう以下のような話をしました。

この夏休み中には、7月28日に熊本で最大震度7の大地震、8月13日に千葉で記録的な豪雨という、大きな自然災害がありました。この2つの災害で、多くの方が亡くなり、今でも苦しい避難生活をしている方がたくさんいます。みなさんと共に亡くなられた方のご冥福と1日も早い復興をお祈りしたいと思います。学校では夏休みまでに火事・地震を想定した避難訓練をしたり、豪雨に備える垂直避難のお話をしたりしました。自分の命を守るために、日ごろから災害に対して備えておくことがいかに大切か、改めて思い知らされました。

さて、みなさん、人間には災害のときなど、とてつもなく追いつめられたときに、普段では考えられないほどのパワーを発揮する能力があることを知っていますか。例えば、普段動かすことができない重い物でも、大切な人を助けるときなら動かしてしまことがあります。似たようなことで、スポーツの世界では、よく「ゾーンに入る」と言われます。これは集中力が極限まで高まり、自分の実力以上の成果が出る状態のことです。このようなとき、体の中ではどんなことが起きているのでしょうか。少し難しい話になりますが、脳が興奮や危機を感じるとアドレナリンという成分が分泌されます。すると血液中にエネルギー源であるブドウ糖があふれ出し、普段は行き渡らない筋肉の隅々までエネルギーが流れるため、爆発的な力が出るのだそうです。一流のスポーツ選手はこの仕組みを上手にコントロールして、ここぞというときに大きな力を発揮しています。

では、脳を興奮させて、本来持っている大きな力を引き出すためには、何が大事だと思いますか？ 1つ目は、日ごろの睡眠、食事を整えることだそうです。しっかり食事をとってエネルギーを蓄え、睡眠で体を休めておくことが大切です。2つ目は、普段のいろいろな活動をワクワクと楽しむことだそうです。つまらないと思ってするのではなく、おもしろそうだなと脳にワクワクした刺激を与えておくことで、脳のスイッチが入りやすくなります。

さあ、今日から夏休み明けの学校生活がスタートです。夏休み中、だらだらと過ごし生活が乱れませんでしたか。「早寝・早起き・朝ご飯」と言われているように、睡眠・食事をしっかりととりましょう。そして、今日からの学校生活でどんなことを学ぶのかな、みんなで活動するのは楽しみだなというワクワクした気持ちで、学習や活動に取り組みしましょう。そうすることで、脳のスイッチが入り、いろいろな場面で普段以上の大きな力を発揮でき、さらに自分の力を伸ばすことができます。夏休み明けもみなさんがさらにたくましく成長する姿が見られることを楽しみにしています。



夏休みプール開放

7月23日(木)にプール開放がありました。この日は午前中から30度を超える暑い日で、子どもたちは気持ちよさそうに水遊びや泳ぎを楽しんでいました。

夏休み中は8月6日(木)にもプール開放が行われました。2日間で約35名の子どもたちが利用しました。

7月30日(木)は残念ながら雷注意報発令のため中止でした。



親子で参加する学校環境整備作業

8月23日(日)に学校環境整備作業を行いました。休日の早朝にもかかわらず、たくさんの保護者の方や児童のみなさんが参加してくださいました。校庭の側溝の泥上げ作業や校舎内のトイレ・手洗い場の掃除、特別教室の掃除など、普段なかなかできないことをすることができました。

皆様のお力をお借りしてきれいにできたこと本当にありがとうございました。ご協力いただきありがとうございました。



体育館空調整備設置工事



夏季休業中から体育館の空調設備の設置工事が始まりました。現在は、設置のための下準備が行われています。体育館西側には足場が組み立てられ、体育館使用に多少制限があります。来年1月15日に工事完了の予定です。

教職員の研修

7月28日(火)に光陽中学校区小中合同研修を行いました。福井市教育委員会学校教育課より出蔵指導主事、阪井指導主事に来ていただき「学校を取り巻くインターネットトラブル」についてお話をいただきました。その後、グループに分かれ、いろいろな事例に対してどのように対応するとよいかディスカッションをしました。他校の先生方と積極的に意見を交わす様子が見られ、有意義な研修会になりました。

また、8月21日(金)に消防設備に関する研修と教育研究所訪問型研修を行いました。消防設備の研修では、救助袋や消火栓の使い方について教えていただきました。救助袋は斜降式(南3F音楽室)と垂直式(北3F多目的ホール)があり、設置して降りる体験もしました。研究所の訪問型研修では、研究所の林先生に来ていただき、本校が進めているポジティブ教育に関して、授業の進め方や具体的実践例などについて指導助言をいただきました。

夏季休業中に私たち教職員は、学校全体で研修に取り組んだり、個人で研修を受講したりして、学びを深めました。これからの教育活動で、学んだことをいかしていきたいと思います。

【光陽中学校区小中合同研修】



【救助袋体験】



【教育研究所訪問型研修】